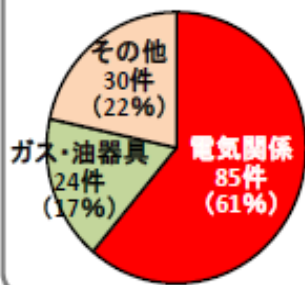
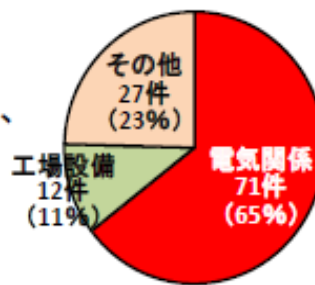


地震による 電気火災対策を！

過去の地震における火災の原因の約6割が電気火災



〈阪神・淡路大震災〉
139件の火災のうち、
電気火災は85件
(約6割)



〈東日本大震災〉
110件の火災のうち、
電気火災は71件
(約6割強)

※ 出火原因が確認されたもの

電気火災は、なぜ起きるのか？

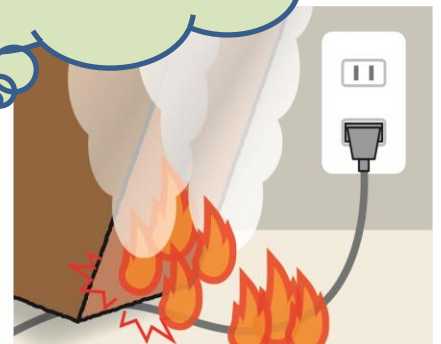
この他に復電による
火災も多くあります。



重い物が倒れて、壊れた電気製品から発火



復電後、電気製品に落下した可燃物から発火



電源コードの被覆が破れて短絡(ショート)により発火

地震が発生したら、ブレーカーを落とし、
電気火災を防ぐことが大切です。

しかし震災が起こったときはパニックで
ブレーカーを落とすことを忘れてしまうな
ど、日頃気をつけていても忘れてしまうこと
が多くあります。



ならば、どうすべきか…裏面をご覧ください！

そんな時は…

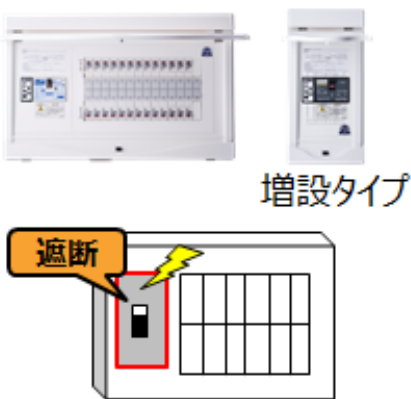
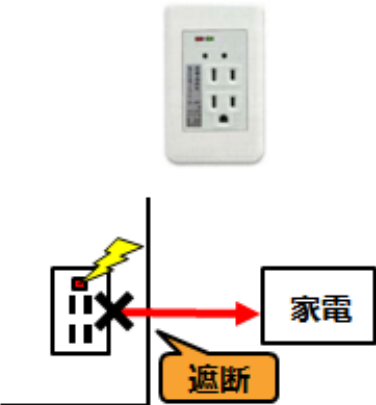
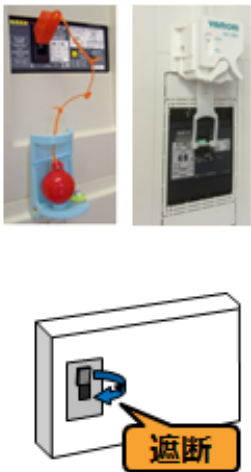
「感震ブレーカー」

が効果的です。



感震ブレーカーとは？

感震ブレーカーは、地震を感知すると自動的にブレーカーを落として電気を止めます。

分電盤タイプ [®] (感震ブレーカー)	コンセントタイプ [®]	簡易タイプ [®]
 増設タイプ 感震ブレーカー 地震の揺れを感知し、主幹ブレーカーを自動で遮断	 家電 遮断 地震センサーでコンセントからの給電を遮断	 遮断 地震の震動で主幹ブレーカーを物理的に遮断

	分電盤タイプ (増設含む)	コンセントタイプ	簡易タイプ
出火予防 範囲	 家全体	 一部家電	 遮断
電気 工事	必要	必要/不要	不要
機器 コスト目安	約2～8万円	約5千円～2万円	約3～4千円
遮断までの 猶予時間	3分間	なし	なし



お問い合わせ先
羽島市消防本部予防課
TEL 058-392-2601

